

建設技術研究開発助成制度の概要

建設以外の他分野を含めた連携を進め、広範な学際領域等における建設技術革新を促進するための競争的資金制度

公募期間：平成18年1月21日～平成18年2月24日（下記の2公募とも同じ）

1. 基礎・応用研究開発公募（平成13年度創設 交付総額285,000千円程度）

基礎研究及び応用研究段階で、研究成果が実用化研究に結びつく可能性が高く、将来、実社会での活用が可能となった場合の波及効果が大きな研究開発課題に対する競争的研究資金

○公募対象

安全に安心して生き生きと暮らせる社会の実現に向け、今後5年間に推進すべき研究開発について、19のテーマを対象として設定

○平成17年度の応募と採択の実績

応募：新規 87件、継続 5件 採択：新規 8件<10.9>、継続 4件

※< >内は競争倍率

2. 実用化研究開発公募（平成17年度創設 交付総額95,000千円程度）

地域のニーズ等に応じた実用化段階の技術研究開発のテーマについて、地域の産学官連携等による研究開発課題に対する競争的研究資金

○公募対象

①地域の防災・減災、②社会資本・建築物の維持・更新の最適化、③自然環境などを活かした資源への転換など、地域の課題解決のための研究開発が対象

○平成17年度の実績と応募

応募：75件 採択：6件<12.5>

※< >内は競争倍率

【建設技術研究開発助成制度のスキーム】

